

「第 11 回日中地域間交流推進セミナー」を 北京市で開催しました！

北京事務所

1 開催概要

自治体国際化協会北京事務所では、日中の地域間交流を一層推進することを目的として、2002 年から毎年、日中地域間交流推進セミナーを中国各都市で開催しています。

第 11 回目の開催となる今年は、日中の国交が正常化して 40 周年の節目にあたります。

そこで、この間における日中の地域間交流の意義、果たしてきた役割といったものを再評価するとともに、今後の日中地域間交流の展望や課題について議論を深める必要があるのではないか、こういった思いから、「新たな地域間交流の展開 ～地域から切り拓く日中の未来～」をテーマに、本セミナーを開催しました。

セミナーには、日本から全国知事会の山田啓二会長（当協会会長/京都府知事）、全国市長会の大西秀人前副会長（高松市長）にお越しいただいたほか、中国からは外交部の程国平副部長（副大臣級）をはじめ国内各地の関係者の皆様にお越しいただき、日中双方で 114 名の参加がありました。

日 程：2012 年 8 月 2 日（木）～3 日（金）

2 日午後 セミナー本会議、レセプション

3 日 行政視察

場 所：北京市長富宮飯店 「芙蓉の間」

テーマ：新たな地域間交流の展開 ～地域から切り拓く日中の未来～

主 催：(財)自治体国際化協会北京事務所

共 催：中国外交部外事管理司、北京市人民政府外事弁公室

後 援：在中国日本国大使館、(独) 国際交流基金北京日本文化センター
中国日本友好協会

参加者：日中双方の地方政府関係者等 114 名（日方 59 名、中方 55 名）



会場の様子



真剣な様子で講演に耳を傾ける参加者

2 本会議内容

(1) 第1部

本会議ではまず、木村陽子当協会理事長、程国平中国外交部副部長、堀之内秀久在中国日本国大使館特命全権公使の冒頭のあいさつの後、山田啓二全国知事会会長及び丁向陽北京市人民政府副市長から基調講演をいただきました。

主催者を代表し木村理事長から、昨年3月に発生した東日本大震災では、中国の各方面から数々の心のかもったお見舞いや支援をいただき、中国の方との心の絆をあらためて感じたところであり、こうした中、本セミナーを契機として、新たな人と人の絆や協力のネットワークができ、日中地方自治体間の交流の推進に貢献できることを期待しているとの挨拶がありました。

次に、程国平副部長から、日中国交正常化を実現して40年、日中関係は決して順風満帆とはいかなかったが、両国政府と各界の有識者の絶え間ない努力により、日中関係は着実に前進し、各分野の交流と提携は絶えず深化されたとこれまでの取り組みを振り返った上で、日中地方交流に対し、次の3つの提案をされました。

- ・民が官を促すことで官民が連携し、日中友好の大局を維持する。
- ・互惠関係、共同发展を維持し、地方間の経済・貿易の提携を絶えず深化させ、両国民により多くの恩恵を導く。
- ・日中地方政府及び民間交流はまだまだ発展する余地があり、観光、文化、教育、医療、衛生等分野での協力や、更には青少年交流により、日中友好関係の更なる発展と国民の相互理解を促す基礎を築く。

また、堀之内秀久特命全権公使からは、インターネットが発達し、時として相手国に関する断片的な情報が日中間でも誤解を招くような事態が散見される現在、地域に根差した日中両国民間の交流、お互いのありのままの姿に触れ合う交流は、益々重要になってきていると、地域間交流の役割について述べられました。

基調講演では、山田会長が具体的に統計資料を用いて、この10年で日中において人、物が飛躍的に交流をとげ、飛躍的に2つの国の関係が高まったと同時に、地域同士の交流が飛躍的に拡大したことを紹介されました。そして最後に、日中地域間交流が新しい日中関係を構築することへの期待に触れられ、今後は日中の地域、国民が抱えている課題を解決していくための新たな交流の仕組みが必要であり、既につながった状態にある日中の毛細血管を、次の10年で動脈に変えることができるよう、地方もしっかりと歩を進めると力強く語りました。

つづいて、丁副市長が、中国の首都であり、歴史文化のみならず最先端技術や教育の中心都市である北京が、近年、特に観光分野の振興に力をいれており、北京市と日本の地方自治体との間で、小中学校の修学旅行を通じた教育旅行や文化芸術交流の一層の協力により、両国の人的交流、文化交流に寄与していきたいと抱負を述べられました。



山田全国知事会会長の基調講演



丁北京市副市長の基調講演

(2) 第2部

本会議第2部では、「相互理解の促進に向けた地域間交流の課題と提案」をテーマに、大西秀人全国市長会前副会長、高橋耕一郎国際交流基金北京日本文化センター副所長、朱丹中国日本友好協会副秘書長、白智立北京大学政府管理学院副院長、王衆一人民中国雑誌社総編集長の日中地域間交流の第一線で活躍されている5名のパネリストによるパネルディスカッションを行い、最後に田中敦仁当協会北京事務所所長の総括で締めくくりました。

パネルディスカッションでは、特に文化と教育の交流についてスポットを当て、映像などを通じた文化交流やスポーツを通じた青少年交流、さらには大学における教育交流等の具体的な取り組み事例を紹介していただきながら、更なる相互理解を促すための課題や展望について、活発なディスカッションが行われました。

その中には、「日中の相互理解を図る上で、地方政府間交流に加えて今後は草の根の民間交流、市民交流が重要であり、行政は民間交流を支援するべきであること」、「双方の交流が表層的なものではなく、お互いの生活や文化についてより深く理解しようとする姿勢が必要であること」、「百聞は一見に如かずというように双方ともありのままの姿に具体的に触れ合う交流が重要であること」、「地域間交流の内容をより充実したものとするためにさまざまな方式での交流の場を作ることが重要であること」といった、熱のこもったご意見、ご提案がなされ、日中双方の参加者は熱心に耳を傾けていました。



日中双方のパネリスト

最後に総括では、田中所長が本会議全体を振り返った後、「日中間の交流が新しいステージへと移行していく中で、自治体国際化協会北京事務所では、今後も日中地方政府間の対話をより強化し、地方が抱える日中の共通課題や解決のノウハウを共有できるような地域間交流の場を皆様方とともに作っていけるよう努力してまいります」と述べ、本会議を閉会しました。

(3) その他の活動

セミナーの開催にあわせて、会場内に展示ブースを設け、日中合わせて 24 の団体が観光パンフレットやポスターを展示し、それぞれの地域の魅力を紹介しました。

【展示団体】

岩手県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県
富山県、山梨県、長野県、岐阜県、京都府
兵庫県、島根県、香川県、長崎県、大分県
鹿児島県、札幌市、横浜市、新潟市、大阪
市、高松市、北京市、義烏市、自治体国際
化協会



各地方政府の展示ブース

また、セミナーの翌日には、北京市内にある北京市計画展覽館及び前門を視察し、日中双方の参加者が交流を深めたほか、当事務所において、中国に事務所を構える日本の地方自治体職員による会議も行われ、参加者に情報交換と多様な交流の機会を提供することができました。

当事務所では、今後ともこうした活動を通じて、関係機関とのネットワークをより強化し、日中地域間交流の一層の促進を図ることで、両国の友好関係の発展に貢献して参りたいと考えています。

(竹中所長補佐 鳥取県派遣)

CLAIR